

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援
目標とすべきまちの姿	青少年が夢や希望をもってさまざまなことに挑戦し、多くの人の支えや関わりの中で、地域を支えられるような大人に成長するための環境が整備されています。 青少年会館を拠点として定期的に講座が開催され、そのなかでさまざまな世代の交流が活発に行われています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	23.4%	平成30年度(2018年度)	26.6%	平成29年度(2017年度)	25.3%
	平成28年度(2016年度)	24.2%	平成27年度(2015年度)	28.6%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.7%	0.8%	0.2%
ちょうどよい	3.4%	47.2%	0.6%
効果不十分	4.5%	3.8%	8.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.0%	1.2%	0.3%
ちょうどよい	1.7%	48.1%	1.7%
効果不十分	3.0%	3.0%	7.8%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.2%	0.2%	0.2%
ちょうどよい	2.3%	46.6%	1.9%
効果不十分	5.3%	1.8%	10.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.5%	0.9%	0.2%
ちょうどよい	2.0%	48.7%	1.1%
効果不十分	4.3%	3.6%	8.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.4%	0.6%	0.4%
ちょうどよい	2.0%	43.5%	1.6%
効果不十分	3.9%	2.3%	10.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	12.3%	49.3%	9.0%	29.4%
平成30年度(2018年度)	16.2%	46.9%	6.0%	30.9%
平成29年度(2017年度)	16.5%	45.7%	6.9%	30.9%
平成28年度(2016年度)	14.6%	50.1%	6.7%	28.6%
平成27年度(2015年度)	17.2%	44.5%	5.2%	33.2%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①引き続き青少年の健全育成を図るため、青少年育成団体と連携し、協力した体制づくりの構築を図る。(こども-33)
 ②青少年の居場所づくりと社会参画を推進する。(こども-34)
 ③多岐多様化しているひきこもりについて関連課等と連携し、支援体制についての検討を進める。また、当事者やその家族への情報提供を行う。(こども-34)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①青少年育成団体等が連携し、青少年を対象した事業の開催によりそれが手本となり青少年が多くの人の支えや関わりの中でさまざまなことに挑戦し、地域を支えられるような大人に成長するための環境が整備される。
 ②青少年の居場所や発表の場を提供することにより夢や希望を持って挑戦できる環境をつくる。
 ③困難に直面している若者やその家族への支援ができる地域社会や、支援体制の充実を図る。

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
こども-30	育成事業	5,529	5,142	1.7	1.7	無	b	B
こども-31	青少年会館管理運営事業	36,080	36,431	1.5	1.5	無	b	B

(4) 主な実施内容

- 【主な実施内容】**
 ①小学生を対象とした子どもキャンプを実施し、ジュニアリーダーの指導のもと、異年齢との交流や、他校の友達と協力・協調することを学んだ。
 ②放課後かまくらっ子を青少年の居場所とし、中学生～大学生がサポーターとして参加した。
 ③福祉総合相談窓口の設置をした。ひきこもり支援マップを作成・配布し、関係機関窓口や相談先を掲載し、支援体制の周知を図った。関係課と調整し、令和2年度よりひきこもり関連は健康福祉部へ移行した。

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

青少年育成団体である青少年指導員が主催した子どもキャンプでは、市内小学校15校の参加があり、ジュニアリーダーが中高生サポーターとして加わり、夕食づくりやレクリエーションを通じて、多世代・異年齢の交流が図れた。

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	こども-33	事業名	育成事業					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	青少年指導員の人数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
青少年を対象とした取り組みの指標となるため	目標値	75	75	75	75	75	75					
	実績値	65	63	56	58	62	62					
	達成率	86.7%	84.0%	74.7%	77.3%	82.7%	82.7%					
整理番号	こども-34	事業名	青少年会館管理運営事業					単位	人	指標の傾向	↘	備考
指標の内容	青少年会館利用者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
青少年の参加しやすい講座の開設	目標値	52,000	52,300	52,400	52,500	52,600	52,700					
	実績値	52,845	55,041	53,715	51,496	47,113	38,496					
	達成率	101.6%	105.2%	102.5%	98.1%	89.6%	73.0%					